



# ドリーム館だより



2021/5/7 伊良波中学校 図書館

## ～勉強や部活動の息抜きに～

新学期がスタートして1ヵ月が経ち、新しい学級や学校生活に少しずつ慣れてきたころでしょうか。ドリーム館は、今月も朝から貸出・返却の生徒が来館してくれて、とても嬉しく感じています。

勉強や部活動の息抜きに、読書で気分を変えてみるのは、いかがでしょうか？

皆さんが安心して登校し、安全に学校生活を送れるように「密閉、密集、密接」を避け、感染症予防・感染拡大防止に努めながら、5月も図書館活動をやっていくつもりです。これからも引き続き「新しい図書館の利用」についての協力をお願いします。



### 〈 5月の貸出 〉

※「コロナ対策非常用の日程」  
使用をお願いします。

○混雑を避けるため、貸出は  
のびのびタイム&お昼休みです。

○貸出し冊数は1人2冊まで

○貸出カードを使用しない。

※学年・クラス・番号を言って、  
貸し出し手続きをする。



次に借りる人のために返却期限は守りましょう!

「本屋大賞」の本  
中学生でも読めるの？

新刊書の書店で働く店員さんが、過去一年間、自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票する、「本屋大賞」。

候補作10点の中から、4月14日に2021年の大賞が発表されました。

『52 ヘルツのクジラたち(町田そのこ)』が大賞を受賞しました!

ドリーム館にありますので、ぜひ手に取って  
みてください。

### 〈 返却 〉

OPCで返却の手続きのあと、隣の返却本棚に戻します。

→1冊でも返してないと、借りれなくなります。  
(返却後は除菌しています)

### 分類を知ろう!

～図書館の本は大きく10のグループに分けられています～

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 0 → 年鑑、図書館に関する本など | 5 → 機械・ロボット・環境・料理・手芸など |
| 1 → 考え方・生き方       | 6 → 産業・園芸・動物の飼い方       |
| 2 → 歴史・伝記・地理      | 7 → 芸術・スポーツ            |
| 3 → 職業、福祉、政治、法律など | 8 → ことわざ、四字熟語、外国語など    |
| 4 → 理科・数学・医学など    | 9 → 文学                 |
- k→郷土の本(沖縄の本)



2021 本屋大賞 (第18回)

52 ヘルツのクジラたち / 町田そのこ



「家族から逃げるように海辺の小さな町に越してきた貴瑚(きこ)。実母からの虐待で心に深い傷を負う彼女は、同じように母親から虐待され声が出せなくなった少年に出会う。

「助けて」と声をあげることすらできなくなった彼を助けるため、彼女がとった行動は。社会問題である児童虐待を描いた長編小説。」



2位 お探し物は図書室まで

/青山美智子

お探し物は、本ですか?仕事ですか?人生ですか?悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押しします。明日への活力が満ちていくハートウォーミング小説。

3位 犬がいた季節/伊吹有喜

1988年夏の終わりのある日、高校に迷い込んだ一匹の白い子犬。「コーシロー」と名付けられ、以来、生徒とともに学校生活を送ってゆく。初年度に卒業していった、ある優しい少女の面影をずっと胸に秘めながら…。18歳の遠慮や決意を、瑞々しく描く青春小説。



8位 オルタネート/加藤シゲアキ

高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京のとある高校を舞台に、3人の若者の運命が、鮮やかに加速していく。恋とは、友情とは、家族とは、人と“繋がる”とは何か。悩み、傷つきながら、私たちが「世界との距離をつかむまで」をエモーショナル描く。



9位 推し、燃ゆ/宇佐見りん

逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。アイドル上野真幸を“解釈”することに心血を注ぐあかり。ある日突然、推しが炎上し。

ライオンのおやつ



4位 逆ソクラテス/伊坂幸太郎  
逆境にもめげず簡単ではない現実  
に立ち向かい非日常的な出来事  
に巻き込まれながらもアンハッ  
ピーな展開を乗り越え僕たちは逆  
転する!

アーモンド……。ソン・ウンピョン  
扁桃腺(アーモンド)が人より小さ  
く、怒りや恐怖を感じるができな  
い十六歳のユンジェは、目の前で家  
族が通り魔に襲われたときも、無表  
情で見つめているだけ。そんな彼の  
前に、もう一人の“怪物”が現れ、  
喪失と再生、そして成長の物語。

そして、バトンが渡された/瀬尾まいこ  
森官優子、十七歳。継父継母が変わ  
れば名字も変わる。だけどいつも  
両親を愛し、愛されていた。「私には  
父親が三人、母親が二人いる。家族  
の形態は、十七年間で七回も変わ  
った。でも、全然不幸ではないのだ。」

この本を盗む者は/深緑野分

父は巨大な書庫「御倉館」の管理人を務めるが、深冬は本が好きではない。ある日、御倉館から蔵書が盗まれ、深冬は残されたメッセージを目にする。“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる”本の呪いが発動し、街は侵食されるように物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り世界が元に戻らないと知った深冬は、一。



かがみの孤城

/辻村深月



ムゲンのi /知念実希人

